

今後の展開（希望）

- ・基材の費用もあり、どのように広めていくかが課題だと思う。
- ・生ごみの減量化、自家製の堆肥づくりとして、真剣に取り組んでもらえるとよい。
- ・ダンボールコンポストを置く場所がある人はいいが、ちょっとむずかしい。
- ・手軽で良いと思う。
- ・仲間と何人かで相談しながら、また現状を見ながら取り組めるとよいのでは。
- ・野菜くずなどが分解されず、いつまでも残っていることに抵抗があった。これが解決するなら、今後も続けたい。
- ・投入終了後1か月半経過し、生ごみはほぼ分解され、土になったのを見て、ダンボールコンポストの効果を実感している。今後も取り組みそう。
- ・佐渡市が以前から啓発していたコンポストを長年使っており、生ごみは全て放り込んでいた。それに比べると、ダンボールコンポストは手間がかかり、面倒だと感じた。
- ・作った堆肥をどのように活用できるか実験中だが、またやってみたいと思っている。
- ・1～2人家族だと生ごみの量も少ないので、基材（ピートモス等）は、今の半分の量が適当と思う。
- ・多くの人に取り組めば、3か月程度でごみの減量に期待できる。
- ・生ごみを堆肥にする事は良いと思うが、投入物の裁断や攪拌などの手間がかかるので自分には難しい。
- ・生ごみを入れて堆肥にできるのはとてもよい取り組みだと思うが、投入時に細かくするなどあまり手間がかかると大変。習慣にできるといいと思う
- ・市販の肥料とダンボールコンポストの堆肥、それぞれ使って成長の過程を比較したい。
- ・熟成後に、土がどのような状態になるといいのか、熟成完了の目安など明記してあるとよいかも。
- ・堆肥として効果があるようなら、続けてみてもいいかなと思う。
- ・もう一度、取り組んでみたい！
- ・子どもたちに、夏休みに取り組んでもらうとよいのではないか。
- ・市民（一般の方）に取り組んでもらうのであれば、基材（土）を配合してダンボールに入れ、すぐに生ごみが投入できる状態で用意して配ることで、気軽に取り組めるようにしたらどうか。
- ・いろいろな方に取り組んでもらうのであれば、基材（土）をセットにするのはもちろん、十分な説明も必要だと思う。
- ・春になったら畑の土と混ぜて、野菜の生育状況で効果を実感してみたい。

